

# 第1回鹿野地域振興会議議事概要

日 時：平成30年4月24日（火） 午後1時30分～午後4時55分

場 所：鹿野町総合支所2階 会議室

## 【出席委員】

小川義和、兼平恵、砂川重雄、山本章、佐々木千代子、筒井洋平、田中文子、伊井照幸、向井健太郎

以上9名出席（敬称略）

## 【欠席委員】

山田薫、山下直司、池原美穂

## 【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、岡田産業建設課長、上野市民福祉課長、三谷地域振興課長補佐

## 【傍聴者】

なし

## 【日 程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 自己紹介

4 報 告

（1）経過報告（資料ダウンロード）

（2）人事異動について

（3）平成30年度総合支所関係地域振興予算について（資料ダウンロード）

（4）指定管理の受託団体『NPO法人鹿の助スポーツクラブ』について

（5）住民意識調査の集計状況報告について（資料ダウンロード）

## 5 議題

- (1) 鳥取市新市域振興ビジョン（改定案 H30.4.18）報告について
- (2) 地域振興会議開催について（資料ダウンロード）
- (3) 委員提案『桜祭りへの提言』（資料ダウンロード）

伊井委員

## 6 その他

- (1) （仮称）「気高道の駅」の名称募集について
- (2) 先進地視察について

## 7 閉会

## ◎議事概要

### 報告事項

#### (1) 経過報告、(2) 人事異動について

事務局より説明

【委員】鹿野学園について教えてほしい。

【事務局】1年生から9年生までの義務教育学校となり245人でスタートしました。6年生は王舎城学舎側（旧中学校校舎）で英語や数学の教科担任も加わり50分授業を受けており、通学に支障がないようバス停を増やして対応しています。また、コミュニティスクールとして、より多くの地域住民に学校応援団として参加していただくような取組みを推進しています。

【委員】児童生徒は何人増えたのか。

【事務局】全体で7人は増えたものと捉えています。

【委員】バス停は、いつからどこに増えたのか。

【事務局】この4月から鳥の劇場の横に1か所増やし循環バスが運行しております。

【委員】小学校5年生が田植えや収穫、餅つきを体験している。農業委員と推進委員の立場が違い、公民館活動ですで行っている事業もあり一人での指導は難しい。

【委員】農業委員や推進委員はそれぞれのやり方でやっていたが、学校応援団の学習支援活動があり、これからは、学校と相談しながら歩調を合わせて行った方がいいのではないか。

【委員】学校応援団と歩調を合せて上手く関わって行きたいと思う。

【事務局】今、学校応援団の活動は、学校からの要請によるものが中心ですが、これからは応援団の方とも相談しながらどの様なことが行えるか話をしてみます。

#### (4) 指定管理の受託団体『NPO法人鹿の助スポーツクラブ』について

事務局より説明

【委員】4月から鹿野町農業者トレーニングセンターが指定管理になったということだが、前よりサービスが低下しているように感じている。

【事務局】トレーニングセンター内には、図書業務にあたる分室職員や地区公民館職員も居るため、窓口の連携不足を懸念しています。円滑に動き出すよう分室、

総合支所で調整を図ってまいります。

【委員】指定管理者が、提案内容を実行し運動広場等も奇麗になっていくのを期待している。

【委員】地域みんなで温かく見守って育てていきたい。

### (3) 平成30年度総合支所関係地域振興予算について

事務局より資料3に基づき説明

【委員】地域内情報伝達設備整備事業について、有線放送の補助申請をした自治会はあるか。

【事務局】申請受付は4月以降ですがまだありません。

【委員】新しい防災行政無線の供用開始はいつか。

【事務局】11月頃をめどに切り替えとなります。

### (4) 住民意識調査の集計状況報告について

事務局より資料5に基づき説明

【委員】回収率は、予想どおりか。

【事務局】高い方です。

【委員】学校の行事がある土日は、公共交通が運行していないので、親も子も右往左往している状態となっている。子どもが「なぜうちの家は●●なのか」と不足を言う。そういう感覚になっているのが怖い。

【委員】調査結果をどういう風に活用していくのか。

【事務局】今はまだ単純集計の段階ですが、交通の利便性が地区ごとにどうなのかとか、将来の展望に繋がる内容を見つけていきたいと思っています。委員のみなさまにも新たなアイデアを見つけ出していただければと思います。

## 議題

### (1) 鳥取市新市域振興ビジョン（改定案H30.4.18）報告について

事務局より説明

【委員】アンケートの集計結果を是非生かすような地域振興会議にしていきたい。地場産業の振興についてそれぞれの団体で行っていることを聞きたい。まずは地ビールの関係はどうか。

【委員】約7年前に商工会青年部とOBで「あかり本願衆」を立ち上げた。まちづくり活動として桜祭りのライトアップやぼんぼり設置をしていたが、このたびア

カリ・ブリューイングを立ち上げジンジャー・ブラウン・エール（クラフトビール）醸造を4月22日から始めた。今後もあと3種類くらい申請予定。醸造長に清部氏（岐阜県出身）を招いた。

【委員】桜地ビールはまだ製造していないのか。

【委員】3年間鳥取大学と共同研究を行っている。桜から酵母を抽出するがビールにするとなると大規模なバイオ設備が必要になってくる。大学発ベンチャーとして事業化も検討している。

【委員】もう少し安くなればいいが。

【委員】1/3が酒税となるので今がぎりぎりのラインとなる。330mlで550円。昔、ふるさと創生事業の1億円を活用してクラフトビールが流行ったころは設備がただで安く売れた。しかし、1回の仕込みを1000l規模で事業化したところは、継続できていないようだ。小回りの利く150lの仕組みを作っていきたい。

【委員】作る仕組みは出来てきたが、販売の考え方はいかがか。

【委員】今は、酒飯店やコンビニに話をしている。年間作れる量は決まっている。OEM（相手先商標製品製造）で作ってと言われている。スケジュールを立てていきたい。

【委員】醸造所をもっと宣伝したらどうか。

【委員】店番と仕込みを一人でしているのでなかなかまわせない。

【委員】移住・定住の方はどうか。

【委員】NPOいんしゅう鹿野まちづくり協議会で、空き家を活用している件数は23件。ここ最近の移住者は越路ヶ丘、上町の2件。空き家が足りない状況なので良い情報があれば知らせて欲しい。相談の件数は多い。河内の耕作放棄地を活用した果樹園では、今年イチジク約2トンの収穫を見込んでいる。ジェラートやパンなど地元での販売もと考えている。乾燥させたりジャム等加工を工夫することが今年の課題となる。

【委員】しかの宿 田中邸（本家）はどうか。

【委員】鍛冶町の旧八百屋バー隣の民家である。昨年、国登録有形文化財の認定も受けた建物をゲストハウスに改修した。4月22日から宿泊募集をかけている。プレオープンで7名宿泊してもらった。1泊目は、3千円プラス掃除代2300円の計5300円となるが、2泊目からは3千円となり連泊になると安い。個室

貸しで最大3組宿泊できる。

【委員】日本の田舎の家屋を楽しんでもらおうという考え。

【委員】鹿野が一番困るのが食事である。

【委員】予約で食事ができるよう既存店活用を考えている。

【委員】山紫苑などとタイアップしていくことも検討されたい。

【委員】どんな人がくるのか。

【委員】旅行や研修の問い合わせが多い。

## (2) 地域振興会議開催について

【委員】鹿野はまだ視察研修を行っていないので、是非行きたい。

【委員】アンケート結果なども考慮し、5月の地域振興会議で視察先を決めたい。

【委員】利便の悪さを逆手にとってどんなことを頑張っているかというところを視察したい。

## (3) 委員提案『桜祭りへの提言』

提案委員より資料8に基づき説明

【委員】屋台村は今年からだが、各店の設置者が責任もってその場で解決する方法でいいのではないか。

【委員】今は公共のごみ箱は設置しない方向である。

【委員】「週末だけのまちの店」はいんしゅう鹿野まちづくり協議会で行っており、若い人がイベントとしてできる範囲で行っている。

【委員】夢こみちにしてもキャパが全体的に少ない。この前も40人分断っている状況である。労力にあった人件費が捻出できていない。

【委員】本当に地元で儲けを落とすためには地元の人为主体的に取り組まないといけない。

【委員】最低いくらもらっているか。

【委員】750円は支払っているが、ボランティアの時間が多い。

【委員】問題は、若い人をどう取り込んでいくかである。

【事務局】まちをよくするために委員さんの提案は観光協会にも話をしていきます。屋台村のごみは出展者に持ち帰っていただく様再度確認していきます。また、自家用車は、河川敷に誘導するよう、さらに工夫もしてまちを歩いてもらえるように考えていきたい。

【委員】 祭りとは花火はぶつけない方がいいのではないか。

【委員】 もともとは祭りの一週前に行っていた。祭りをしているものは、現実的に花火を見るどころではない。

【委員】 祭り自体の集客がある上、花火の交通規制もあり、町中がどっちにも出られない様になり困っている。

【事務局】 より適当な実施日等について関係者と改めて議論してみたいと思います。

【委員】 今年の入込みはどのくらいだったか。

【委員】 約3万5千人でした。

#### その他

##### (1) (仮称)「気高道の駅」の名称募集について

事務局より説明

【委員】 応募用紙はどこにあるのか。

【事務局】 公民館や支所に置いてあります。インターネットでも申し込みができます。

##### (2) 先進地視察について

【委員】 視察研修については、次回に時期や視察先を決定したい。

#### 5 その他

第2回鹿野地域振興会議は5月22日(火)午後1時30分より鹿野町総合支所会議室で開催予定

#### 6 閉会